



[www.pwc.ru/automotive](http://www.pwc.ru/automotive)

## 2017年のロシア自動車市場の概観および 今後の成長予測

- 乗用自動車
- 小型商用自動車
- トラック
- バス
- 農業機械
- 専門工作機械

2018年2月 現在



**pwc**

# ***Table of contents***



- 
- 1 ロシアの乗用自動車市場**

---

  - 2 ロシアの商用自動車市場**

---

  - 3 ロシアの農業機械市場**

---

  - 4 ロシアの専門工作機械市場**

---

  - 5 総括**

---

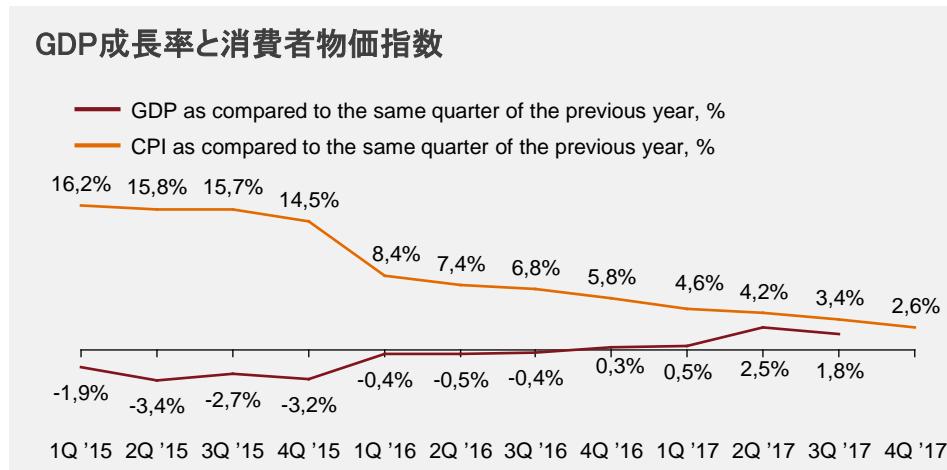
  - 6 PwCについて**



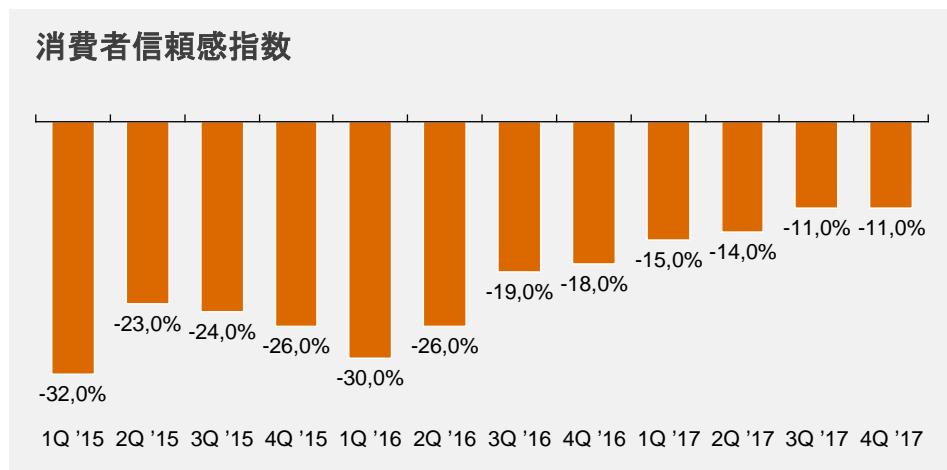


# ロシアの乗用自動車市場

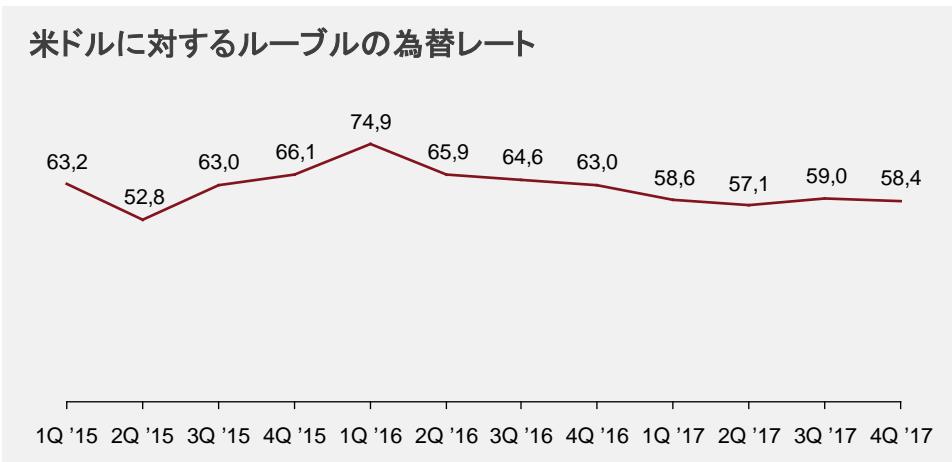
# GDPの増加が示すように2017年にロシア経済は回復期に入ったが、消費者信頼感指数は未だ上向いていない。



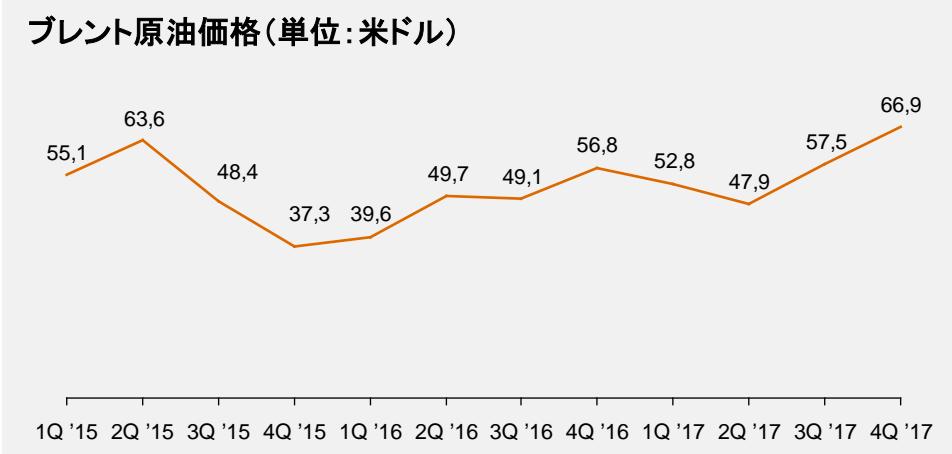
Sources: Ministry of Economic Development of the Russian Federation, Rosstat



Sources: Rosstat



Sources: Central Bank of the Russian Federation



Sources: Bloomberg

## ロシア自動車市場は4年間低迷した後、2017年の販売実績は12.5%の成長を示した。

2017年のロシアでの乗用自動車の新車販売台数は、PwCの試算によると、147万5000台に達し、131万1000台だった昨年に比べて12.5%増加した。

ロシア国産自動車メーカーの販売台数の伸び率は14%、多くの点で需要拡大を促したのは乗用自動車Ladaであり、特にLada Vesta および Lada XRAYモデルでは、それぞれ年間販売台数が40%および67%増加した。

ロシア組み立て外国車の販売増加率も同様に伸び、市場平均を超える19%となった。2017年の実績によると、乗用自動車の全新車販売台数のうち61%は、当該セグメントが占めている。現地化の比率の向上や政府プログラムによる需要活性化策が外国車のロシア自動車市場における立場を強固なものにすることを促進した。

輸入車のシェアについては、2016年に比べて2017年の累積販売台数は21%から17%となった。ルーブルが安定したにもかかわらず(2016年は67ルーブル、2017年には58ルーブル)、輸入車の販売台数は7%低下した。

一方、売上金額ベースでは、市場はルーブル換算同様ドル換算でも成長しているが、ドル換算のほうがより市場は大きく成長しているといえる(ルーブル換算14%に対してドル換算では31%の増加)。これは、ルーブル為替が安定した結果といえる。

Passenger car groups (exclusive of LCV)	Sales*, thousand units			Sales*, RUB bn			Sales, USD bn		
	Jan-Dec 2017	Jan-Dec 2016	Change	Jan-Dec 2017	Jan-Dec 2016	Change	Jan-Dec 2017	Jan-Dec 2016	Change
Domestic brands	323	284	14%	188	167	13%	3.2	2.5	29%
Foreign brands assembled in Russia	897	753	19%	1,018	815	25%	17.5	12.2	43%
New car imports	255	273	-7%	764	747	2%	13.1	17.2	17%
<b>TOTAL</b>	<b>1,475</b>	<b>1,311</b>	<b>12.5%</b>	<b>1,970</b>	<b>1,729</b>	<b>14%</b>	<b>33.8</b>	<b>25.9</b>	<b>31%</b>

\* Passenger car shipments.

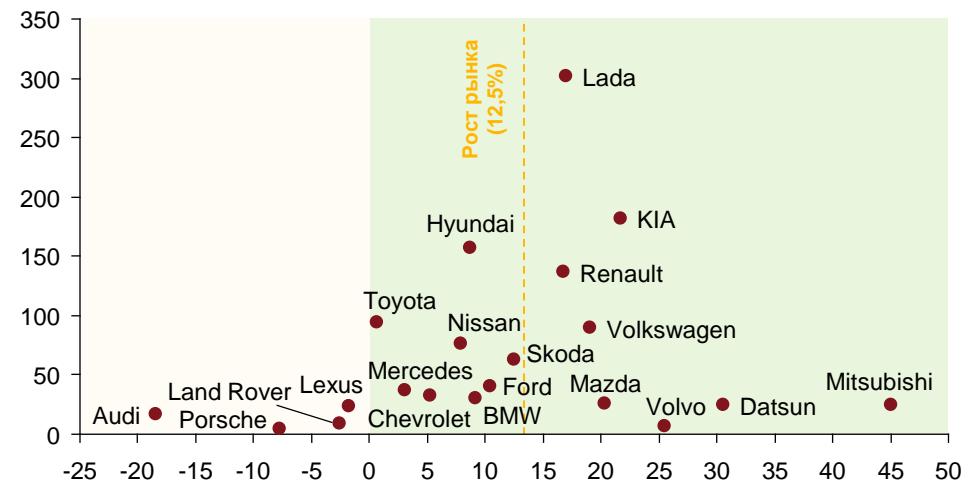
Sources: AEB; Autostat; Russian Federal Customs Service; PwC analysis.

# 2017年は各ブランドごとにさまざまな動きを見せた。中価格車および大衆車セグメントはかなり回復し、一方でプレミアムセグメントは低調であった。

2017年のロシア乗用車市場における主なトレンド：

- 独自のファイナンスプログラムの開発を重視し、政府の需要活性化支援策が適用できるモデルが販売ラインナップにあるブランドは販売台数を伸ばした。
- 大衆車セグメントにおいて、マーケットリーダーとなったのは国産ブランドのLADAであり、販売台数を17%増加させ、市場シェアは20.5%まで拡大した。同様に、販売台数の高い伸びを記録したのは、2016年に市場に登場したブランドRavonであり、年間で15000台まで販売する実績を残した。ブランドのモデルラインナップの拡大および魅力的な価格設定が、当該ブランドの市場におけるさらなる販売増加に寄与するものと予測されている。
- 市場回復を背景に、多くのプレミアムセグメント(輸入車)の販売低迷が確認されている。全体的にプレミアムセグメントは、経済停滞のネガティブな影響を最低限しか受けなかつたにもかかわらず、不況が長引く状況では蓄積された負の効果が現れ始めているといえる。輸入車販売価格の上昇と政府支援策の適用外であることを考慮すると、中価格車および大衆車セグメントに比べて、2018年のプレミアムセグメントの回復はゆっくりとしたものになると予想せざるを得ない。
- 2017年の販売台数の中で、大きな部分を占めるのはSUVおよびクラスBセグメントであった。これらの合計は、乗用自動車の全新車販売台数の80%以上になる。

2017年の各ブランドの販売台数(縦、単位:1000台)と販売増加率(横、対前年比)



Sources: AEB; PwC analysis.

乗用車市場における各ブランドのシェアの推移

ブランド	2016年シェア	2017年シェア	前年比シェア
Lada	19.7%	20.5%	▲
KIA	11.4%	12.3%	▲
Hyundai	11.0%	10.6%	▼
Renault	8.9%	9.2%	▲
Toyota	7.1%	6.4%	▼
Volkswagen	5.7%	6.1%	▲
Nissan	5.4%	5.2%	▼
Skoda	4.2%	4.2%	=
Ford	2.8%	2.8%	=
Mercedes-Benz	2.7%	2.5%	▼
Прочие	21.1%	20.2%	▼

Sources: AEB; PwC analysis.

# 2018年のロシアにおける新車乗用車市場の販売増加率は11%台になると予想されている。

2018年におけるロシアでの新車乗用車販売台数は11%増加し、164万台に達するであろう。

2018年の乗用自動車販売台数を予想する際に重要な要素となるのは、原油価格の予想値である。

分析エージェント会社のGlobal Insightのデータによると、2017年の1バレル当たりのブレント原油平均価格は54.2米ドルであった。Bloombergのコンセンサス予想によると、2018年の1バレル当たりの原油価格は62.5ドルに上昇するとされており、この数値であれば新車販売を活性化することになるであろう。

市場の成長には、国の経済回復速度も影響を与える。特に、消費者信頼感指数の水準が影響を与えることになる。2017年全体の指数はいまだにかなり低い水準にあるが、ポジティブな兆候が見受けられる。

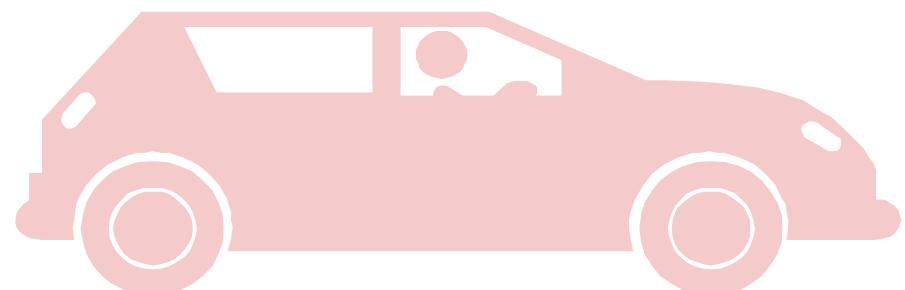
2018年全体では、ロシア国内で生産された自動車のシェアは維持され、83%台を占めることになると予想されている。

WTOの要請に基づく2018年の輸入車に対する輸入関税の低減は、輸入車の販売台数増加にも寄与すると考えられる。しかし、廃車税の調整により、輸入車の総額が深刻なものになるのであれば、消費性向が国内生産の自動車に傾く可能性がある。

新車販売市場予測(単位:1000台)(小型商用自動車は除く)

乗用車	2017年 (実績)	2018年 (予測)
ロシア国産車	323	360
ロシア組み立て外国車	897	1 000
輸入車	255	280
合計	1 475	1 640

Source: PwC analysis



技術の発達は、世界の自動車産業における優先課題を自動車や自動運転車、あるいはその他新しい形態の自動車の分野に転換させている。

## 電気自動車

### 世界の自動車産業での革命的転換\*

- ・自動車の電化は全世界の自動車メーカーが抱える事実上の優先課題である。
- ・ドライバーからの燃費効率に対する要望が厳しくなっており、有害廃棄物の限度量に対しても特別な意味合いを持つようになっている。
- ・市民の環境意識ならびにさまざまな優遇措置や特典の取得可能性が、電気自動車の需要増加を確かなものとする要素となる。

## 自動運転自動車

- ・実証実験や試験走行の実現
- ・商業分野における自動運転技術実用化の大きな潜在性(タクシー、荷物運搬、公共交通機関など)

## 搭載技術

- ・自動車搭載技術の向上、並びに、運転を劇的に機能的かつ快適にするというトレンド。
- ・重要な焦点は、自動車の質および安全性の向上と、運転者の快適性である。

## 新しい移動の形態

- ・主要な要素は、インターネットおよび交通技術の発展
- ・自動車を所有する必要がなく都市環境を効果的に変革できる可能性のあるカーシェアリングに、消費者の関心が高まっている。

新技術の導入に関する分野でのプレイヤー達の経営計画が実現するか否かが、未来の市場構造の変動に重要な影響を与えることになる。

\*イノベーションの影響および消費者の受け止め方に関する詳細は、PwCの調査報告『The future of the automotive industry』を参照

# 経済の回復や産業および新技術への投資拡大が見込まれることを背景に、今後5年間の自動車市場におけるポジティブな動向が予測される。

市場の回復の速さから、今後数年間で、ロシアにおける自動車分野への積極的な投資が増加すると予想されている。2016年から2017年の間には、自動車産業のキープレイヤーからのいくつかの大きなプロジェクトが発表されている。

- 2017年、ウリヤノフスク地方でBrigdgestoneがタイヤ製造を本格的に開始（投資額は2億2000万米ドル）。
- GAZおよびVolkswagenは、組立部品契約を2025年まで延長した。
- BMWは全工程製造施設の建設地としてカーニングラード地方を選定した。
- FAWは、Avtotorとの間で乗用車の製造についての契約を交わした。
- Mercedes-Benzは、モスクワ地方で生産拠点の建設を開始した。長城汽車は、いまだにトゥーラ地方で施設の建設を続けている（いずれも2019年の稼働開始を予定している）。

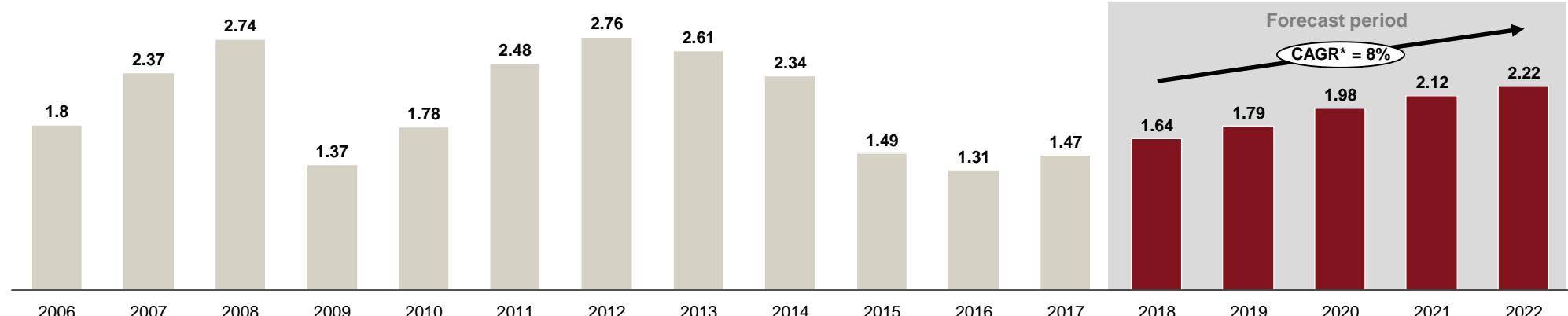
2017年のポジティブな流れが続き、投資計画が順調に進むことを前提に外部的な影響を考慮せずに予測すると、2018年から2022年までのロシア新車販売台数の年間増加率は8%が見込まれる。

持続可能な成長およびマクロ経済指数の安定が、計画された販売量の確実な達成に大きな影響をおよぼすことになる。

特に注目すべき点として、2018年2月に「2025年までのロシアの自動車産業発展戦略」が採択されたことが挙げられる。当該戦略の実施は、今後ロシアの投資環境を向上されることになると期待されている。

当該戦略のゴールとして、現地生産化の拡大、高い潜在性をもつ乗物（電気自動車、ガスエンジン車など）の開発、輸出の増大が挙げられている。

ロシア新車販売市場予想：2018年-2022年（単位：100万台）



Source: PwC analysis.

\*CAGR: Compound annual growth rate.



## ロシアの商用自動車市場

# 中小企業の活性化が、商用自動車市場にポジティブな影響を示している。

小型商用自動車セグメントは、総重量3.5トンまでの自動車が含まれる。

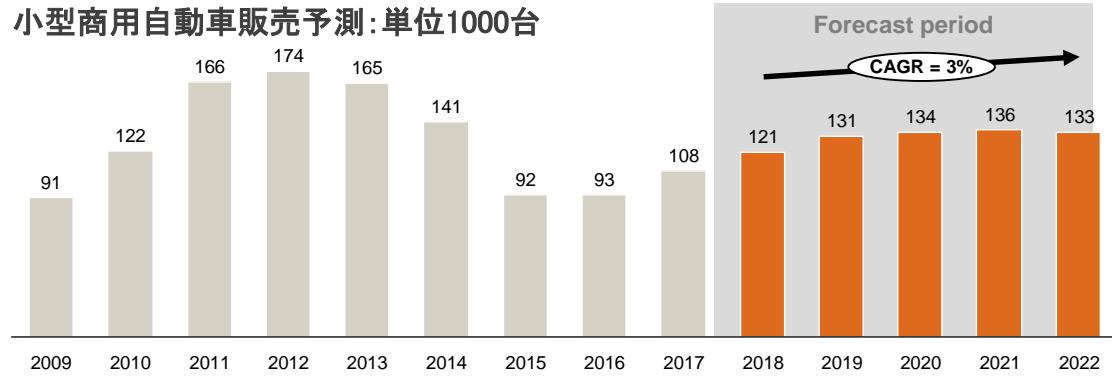
小型商用自動車市場は2017年に17%の伸びを示し、10万8000台が販売された。Ford (+75%), Citroen (+71%) および Peugeot (+53%)が、この販売量増加に寄与した。

ロシアの商用自動車市場は、ロシアメーカーGAZ、UAZ および Lada が席巻しており、三社合計の市場シェアは72%である。その中でも Ladaが、もっとも力強い伸びを示した(+31%)。

UAZ が2017年に販売開始した「UAZ Profi」は、UAZの市場での地位を確固たるものにすることに大きく貢献することになると予想されている。

当法人の推定に基づくと、2018年の小型商用自動車の販売台数は、市場の12%を占める12万1000台になる見込みである。

小型商用自動車販売予測: 単位1000台



Sources: Autostat; PwC analysis.

## 小型商用自動車市場に影響を与える主な要因

- 中小企業:** ロシア経済回復の中で、中小企業の事業は活性化し、小型商用自動車販売増加に寄与することになる。
- 原油価格:** Bloombergのコンセンサス予測によると、2018年の1バレルあたりの原油価格は62.5米ドルまで上昇する可能性があり、販売にポジティブな影響を与えることになるであろう。
- 政府支援策:** 「Svoye Delo (“Open Business”)」という政府プログラムが2018年に開始され、商用自動車販売を後押しすることになる。

ブランド	2016年市場シェア	2017年市場シェア	前年比
GAZ	45.1%	44.1%	↓
UAZ	20.3%	18.5%	↓
Lada	8.3%	9.4%	↑
Ford	5.4%	8.1%	↑
Mercedes-Benz	7.1%	7.4%	↑
Volkswagen	5%	4.6%	↓
Fiat	2.2%	1.8%	↓
Peugeot	1.3%	1.7%	↑
Hyundai	1.7%	1.6%	↓
Citroen	1%	1.5%	↑
Other	2.6%	1.4%	↓

Sources: Autostat; PwC analysis.

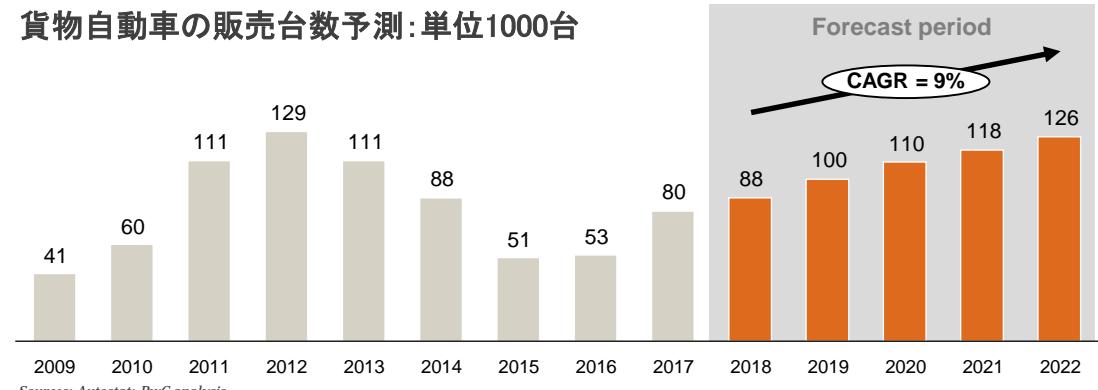
# 経済の回復、交通システムの発達および政府の支援プログラムの実施により、貨物自動車販売が増加した。

貨物自動車市場は、中型(3.5トンから16トン)および大型トラック(16トン以上)が含まれる。

2017年に、貨物自動車の販売量は8万台に達して50%増加した一方で、販売の傾向を見ると輸入貨物自動車のシェアが伸びている。トップ10のプレイヤーを除いて、ロシア国産車は10%の市場シェアを失ったが、外国製貨物自動車は13%もシェアを伸ばした。

当法人の推定に基づくと、2018年の貨物自動車の販売量は、市場の10%を占めて、8万8000台になる見込みである。

貨物自動車の販売台数予測: 単位1000台



## 貨物自動車市場に影響を与える主な要因

- 政府支援策:** 政府プログラム「The Open Business and Rossiysky Tyagach (“Russian Hauler”)」によって、新しい貨物自動車需要を刺激することになる。
- 道路インフラの発展:** 2017年末に、交通システム発展についての政府プログラムが採択され、これは貨物輸送業者の増加に寄与することになるであろう。
- 経済の状況:** マクロ経済指数の安定および事業者達の自信増大、貨物自動車を利用する産業の回復(建設、商業、工業)の全てが市場にとってポジティブな影響を与えることになる。

ブランド	2016年市場シェア	2017年市場シェア	前年比
KAMAZ	37.9%	32.9%	⬇️
GAZ	13.6%	9.7%	⬇️
Volvo	3.2%	7.5%	⬆️
Scania	4.7%	7.1%	⬆️
Mercedes-Benz	3.9%	7%	⬆️
MAN	4.2%	5.9%	⬆️
MAZ	6.2%	4.8%	⬇️
Isuzu	4.7%	4.6%	⬇️
DAF	1.8%	4.6%	⬆️
Ural	5%	4.1%	⬇️
Other	14.8%	11.8%	⬇️

Sources: Autostat; PwC analysis.

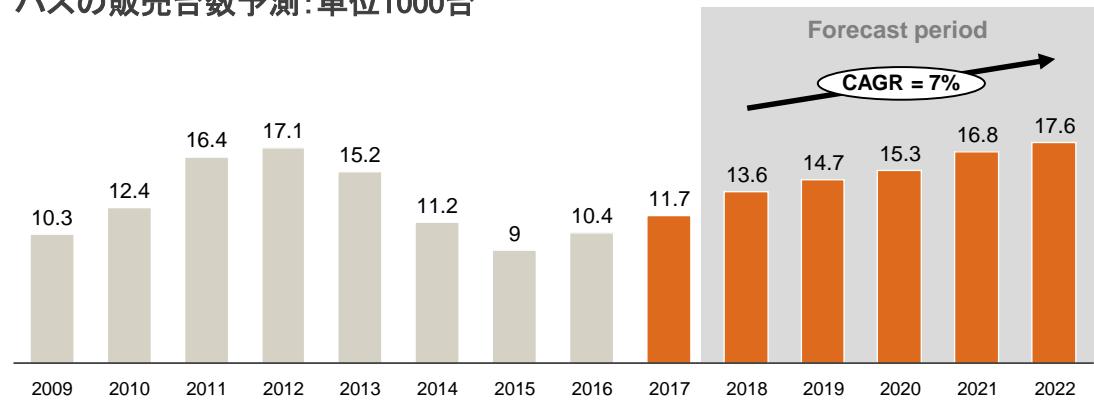
# 新しいバスに対する需要は、老朽化車両買換え政策に左右されることになるであろう。

バスセグメントには、運転手を除き8人の乗客および荷物を輸送するために設計された交通車両で、小型商用自動車に該当しないものが含まれている。

2017年のバスの新車販売台数は13%の伸びを示し、1万1700台となった。バス市場の88%以上は、ロシア国産メーカーが占めており、リーディングカンパニーであるPAZは、市場占有率を65%に伸ばした。

当法人の推定に基づくと、2018年のバスの販売台数は13%増加して、1万3600台になると見込まれている。

バスの販売台数予測: 単位1000台



Sources: Autostat; PwC analysis.

## バス市場に影響を与える主な要因

- 車両の劣化:**既存バスの40%以上がすでに15年以上経過しており、近い将来買換えの必要がでてくる。
- 新しい規制:**子供を乗せるバスの使用年数規制に関するロシア政府の決定が、2018年7月1日に効力をもつことになる。この法規が適用されることを前提とすると、子供用バス車両の買換えに対して多くの投資がなされることが期待されている。
- 乗客輸送システムの発達:**地下鉄の地理的距離の延長や、ライドシェアリングやカーシェアリングなどの代替交通手段の発達により、将来的には、個人所有自動車の拡大と同時に、新しいバスに対する需要が減少する可能性がある。

ブランド	2016年市場シェア	2017年市場シェア	前年比
PAZ	57.4%	65%	↑
LIAZ	18.1%	12.8%	↓
NEFAZ	5.7%	4.3%	↓
KAVZ	3.6%	3.1%	↓
Volgabus	2.7%	3.1%	↑
MAZ	8%	3.1%	↓
Other	4.5%	8.6%	↑

Sources: Autostat; PwC analysis.

# 3

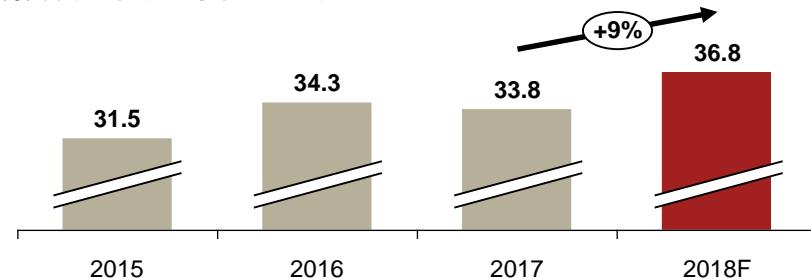


## ロシアの農業機械市場

## 今後数年間のロシアの農業機械分野における優先課題は、機械の買換えと、輸出販売の増加である。

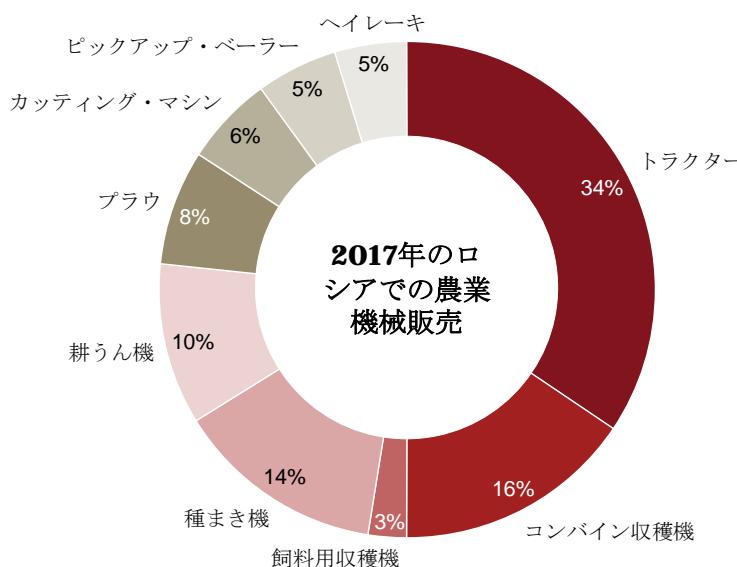
- 2017年のロシアにおける農業機械の販売台数は、昨年よりも若干低調な結果となった(-2%)。農務省によると、トラクター、コンバイン収穫機、飼料用収穫機は、相対的にそれぞれ2%、1%、3%減少した。
- ロシアにおける農業機械の台数は、近年縮小してきた。農業機械の不足および長期使用による劣化(農務省によると、トラクターの平均的な使用年数は25年)を原因として、政府は産業が活性化するためのいくつかの施策を実行してきた。
- 活性化を実現させるために、ロシア政府は2017年に「2030年までの農業機械発展戦略」を導入した。戦略は、農業機械車両の買換えおよび輸出の拡大に焦点を当てている。輸出拡大の重要性については、同じく2017年に導入された「2025年までの農業機械輸出発展戦略」においても言及されている。
- 自動車産業へのロシア政府の支援は、メーカーへの輸出活性化補助金、廃棄税への補償、研究開発計画ファンドなどが含まれている。

農業機械販売予測: 単位1000台



Sources: Ministry of Agriculture of the Russian Federation; PwC analysis.

2017年の農業機械販売の構成



Sources: Ministry of Agriculture of the Russian Federation; PwC analysis.



## ロシアの専門工作機械市場

# 専門工作機械の販売においては、老朽化機械の買換えの必要性、同様に政府政策の実施が影響を与える。

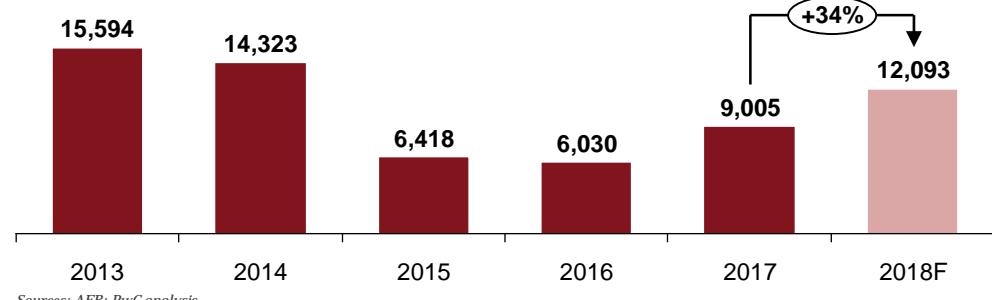
過去5年間で初めて、2017年は専門工作機械市場の販売量が伸び、全体で49%増加した。

2017年は、専門工作機械の全てのタイプでポジティブな成長を示した。成長率が低かった機械は、スキッドステアローダー(+16%)、地ならし機(+29%)であった。

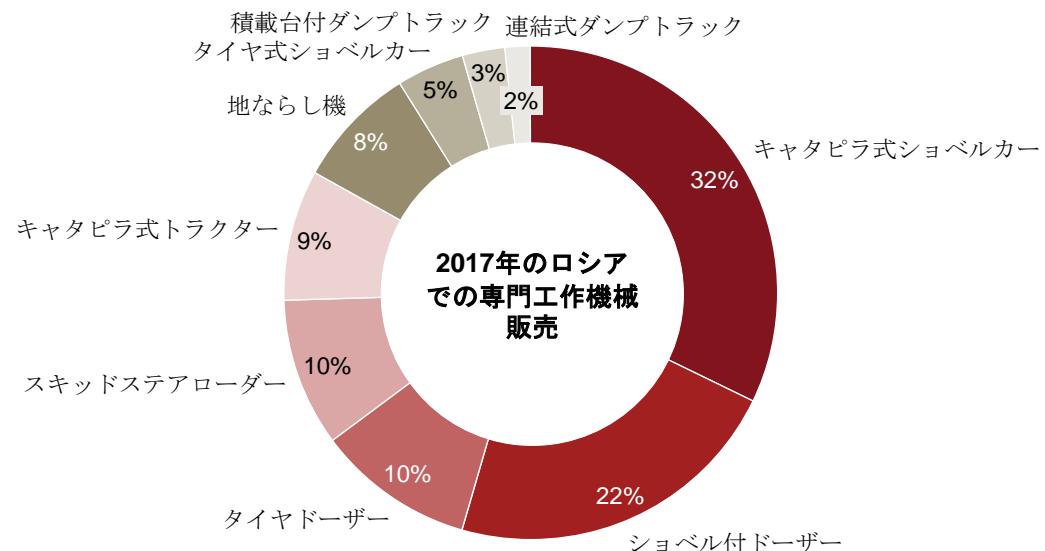
## 専門工作機械市場に影響を与える主な要因

- 専門工作機械に対する需要:**消費者が中古機械を利用するようになり、新しい建設機械の販売台数はここ数年ネガティブな数字を示していた。しかしながら、専門工作機械の摩耗が酷くなっていることが、市場のプレーヤー達に固定資産の買換えるインセンティブとなっている。
- 助成金の提供:**産業貿易省は、ロシア国産メーカーの機械リース契約に対する10億ルーブルの助成金を承認した。これにより、ロシア企業の専門工作機械の販売および生産が増加した。この専門工作機械のリース販売に対する(25億ルーブルもの補助がなされた)インセンティブが、同様に市場の発展に寄与した
- 経済状況:**専門工作機械を利用する関係産業、つまり建設産業の回復は、専門工作機械市場においてポジティブな影響を与えることになる。
- 政府支援策:**外国市場におけるロシア国産メーカー振興を目的とした政府支援策は、2017年の輸出拡大に貢献した(2017年9月時点で+73%)。

道路建設機械販売予測: 単位1台



2017年の道路建設機械販売の構成



Sources: AEB; PwC analysis.



# 総括

## 総括

- GDPの増加が示すように2017年にロシア経済は回復期に入ったが、消費者信頼感指数は未だ上向いていない。
- ロシア自動車市場が4年間低迷した後、2017年の販売実績は12.5%の成長を示した。
- 2017年では各ブランドごとにさまざまな動きを見せた。中価格車および大衆車セグメントはかなり回復し、一方でプレミアムセグメントは低調であった。
- 2018年にロシアにおける新車乗用車市場の販売増加率は11%台になると予想されている。
- 技術の発達は、世界の自動車産業における優先課題を、電気自動車や自動運転車もしくはその他新しい形態の自動車の分野に転換させている。
- 経済の回復や産業および新技術への投資拡大が見込まれることを背景に、今後5年間の自動車市場におけるポジティブな動向が予測される。
- 中小企業の活性化が、商用自動車市場にポジティブな影響を示している。
- 経済の回復、交通システムの発達および政府の支援プログラムの実施により、貨物自動車販売が増加した。
- 新しいバスに対する需要は、老朽化車両買換え政策に左右されることになるであろう。
- 今後数年間のロシアの農業機械分野における優先課題は、機械の買換えと、輸出販売の増加である。
- 専門工作機械の販売においては、老朽化機械の買換えの必要性、同様に政府政策の実施が影響を与えるであろう。

## お問い合わせ

糸井 和光

ディレクター, PwCロシア日本企業部門

+7 (495) 967-6349

[m.itoi@pwc.com](mailto:m.itoi@pwc.com)

This presentation has been prepared for general guidance on matters of interest only, and does not constitute professional advice. You should not act upon the information contained in this publication without obtaining specific professional advice. No representation or warranty (express or implied) is given as to the accuracy or completeness of the information contained in this publication, and, to the extent permitted by law, PwC, its members, employees and agents accept no liability, and disclaim all responsibility, for the consequences of you or anyone else acting, or refraining to act, in reliance on the information contained in this publication or for any decision based on it.

PwC Russia provides industry-focused assurance, tax, legal and advisory services. Over 2,500 professionals working in PwC offices in Moscow, St Petersburg, Ekaterinburg, Kazan, Rostov-on-Don, Krasnodar, Voronezh, Novosibirsk, Vladikavkaz and Ufa share their thinking, experience and solutions to develop fresh perspectives and practical advice for our clients.

PwC refers to the PwC network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Together, these firms form the PwC network, which includes over 223,000 employees in 157 countries.

© 2018 PwC. All rights reserved.